熊本市立千原台高等学校マニフェスト(2025)

学校教育目標『「一生懸命はカッコイイ」を実践する学校づくり～「チャレンジ チェンジ チャンス」で成長の好循環を～』を達成させるために、本年度は次のことに特に力を入れて、全職員で学校運営を行っていきます。

『進路実現１００％』を目指します

上記実現のために本年度重点化する具体的実践事項とその到達目標は以下のとおりです。

1. 勉強の仕方を身につけ、「わかる」「できる」を実感できる授業実践

【設定理由】勉強の仕方を身につけることで、「学ぶ」から「わかる」「できる」につながる体験が積み重なり、さらに学びに向かう姿勢がよくなっていくという共通理解のもと、勉強の仕方を身につける指導を大切にした授業をすべての教科・科目で実践していきます。

〈到達目標〉・１２月に実施される自己評価の「日々の授業や家庭学習に真剣に取り組むことで、わかる・できるを実感できることがよくあった」に対し、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の回答率が９０％以上

・観点別評価「CCC」がゼロ

2. 進路意識の醸成を目指したキャリア教育の充実

【設定理由】進路意識が高まらない背景として「社会のことを知らない」「社会に出たとき自分がどんなことをやりたいのかがわからない」「自分が社会で通用するのか自信がない」などがあると考えられます。そこでインターンシップやオープンキャンパスへの参加率を上げると共に、社会人との交流の機会をより多く設定し、自分の将来像を具体的に描けるようにしていきます。

〈到達目標〉・夏休みのインターンシップ参加生徒数が３０名以上

・オープンキャンパスの参加率が進学希望者の２年で３０％以上,３年で８５％以上

・３年進路探究において企業訪問や学校訪問等の実施

・「ようこそ先輩」など大学生や社会人との交流事業を通して「進路意識が向上した」という回答が関係生徒の８０％以上

3. 探究活動を通した社会に通用する力の育成

【設定理由】探究活動とは答えのない問いに対して自分なりの納得解、妥当解を導く、いわゆる課題解決型学習です。現状分析・仮説・実践・結果分析・改善という流れは実社会で一般的に実践されているところであり、社会で必要とされるスキルです。探究学習に力を入れて取り組むことを通して、こうした社会人基礎力を身につけさせます。

〈到達目標〉・企業または行政、大学等との連携を通して「進路意識に役立った」が 10%以上

・１,２年全員がグループまたは個人で外部コンテスト等にエントリー

・外部コンテスト入賞１チーム以上

4. 新しいことや未知の世界に積極的に挑戦する生徒の育成

【設定理由】「粘り強く考える姿勢」が不足したり、「やればできるのに簡単にあきらめてしまう」生徒は少なくない。背景にあるのは、努力することで過去の自分を超えられた経験が少ないからではないかと考えます。結果よりも挑戦する過程そのものを大事にし、そこを肯定的に捉える校内風土を醸成させ、新しいことに挑戦しようという気持ちを育てます。

〈到達目標〉・１２月に実施される自己評価の「様々なことに挑戦し、新しい自分、成長した自分に出会うことができた」に対し、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の回答率が９０％以上

・生徒会と連携しながら新しいことに挑戦する生徒や高い目標に向かって頑張っている生徒（通称『キラビト』）の情報を集約し、その姿を２週間に１回程度のペースで公式SNS・魅力づくり部通信・校内放送等を活用して発信する